

## ■ JBC スプリント (JpnI) アラカルト (過去全 22 回の分析)

---

※第 2 回 (平成 14 年)、第 14 回 (平成 26 年)、第 22 回 (令和 4 年) は盛岡 1,200m、第 3 回 (平成 15 年) は大井 1,190m、第 5 回 (平成 17 年)、第 9 回 (平成 21 年) は名古屋 1,400 m、第 6 回 (平成 18 年) は川崎 1,600m、第 8 回 (平成 20 年) は園田 1,400m、第 10 回 (平成 22 年) は船橋 1,000m、第 12 回 (平成 24 年)、第 16 回 (平成 28 年) は川崎 1,400m、第 13 回 (平成 25 年)、第 21 回 (令和 3 年) は金沢 1,400m、第 18 回 (平成 30 年) は京都 1,200m、第 19 回 (令和元年) は浦和 1,400m で実施

※第 6 回 (平成 18 年) は「JBC マイル」の名称で実施

※記録は令和 5 年 10 月 20 日時点

### ■ 1 番人気馬の勝率や連対率はますます優秀

単勝 1 番人気馬は 10 勝、2 着 5 回、3 着 0 回で、3 着内率が 68.2%、単勝 2 番人気馬は 4 勝、2 着 6 回、3 着 1 回で、3 着内率が 50.0%、単勝 3 番人気馬は 4 勝、2 着 4 回、3 着 4 回で、3 着内率が 54.5%となっている。単勝 1 番人気馬がそれなりに信頼できるレースと言えるだろう。

### ■ 3 番人気以内の馬が 1~2 着を占めた例は 12 回

過去 22 回のうち 18 回は、単勝 3 番人気以内の馬が勝利を収めている。なお、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツーフイニッシュ決着は 12 回、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツースリーフィニッシュ決着は 2 回ある。

### ■ GI・JpnI 初勝利だった馬は 18 頭

過去 22 回のうち 18 回は、GI・JpnI において 1 着となった経験のない馬が優勝を果たしている。既に GI・JpnI で 1 着となった経験があった優勝馬は、第 6 回 (平成 18 年) のブルーコンコルド、第 9 回 (平成 21 年)、第 11 回 (平成 23 年) のスーニ、第 13 回 (平成 25 年) のエスポワールシチーだけだ。

## ■ 4 歳以下の馬があまり勝ち切れていない

馬齢別の勝利数を見ると、3 歳が 1 勝、4 歳が 2 勝、5 歳が 9 勝、6 歳が 5 勝、7 歳が 3 勝、8 歳が 2 勝となっている。過去 22 回のうち 19 回で 5 歳以上の馬が勝っている点に注意すべきだろう。

## ■ 優勝馬の大半は JRA 所属馬だが……

所属別の勝利数を見ると、JRA が 19 勝、地方が 3 勝となっている。地方所属馬の優勝例は、第 18 回（平成 30 年）以前に限ると第 7 回（平成 19 年）のフジノウェーブ（大井）のみだったが、その後は第 19 回（令和元年）のブルドッグボス（浦和）、第 20 回（令和 2 年）のサブノジュニア（大井）と、既に 2 例ある。

## ■ 牝馬は 1 勝、外国産馬は 5 勝

牝馬の優勝例は第 15 回（平成 27 年）のコーリンベリーのみである。一方、外国産馬の優勝例は第 1 回（平成 13 年）のノボジャック、第 3 回（平成 15 年）のサウスヴィグラス、第 9 回（平成 21 年）、第 11 回（平成 23 年）のスーニ、第 16 回（平成 28 年）のダノンレジェンドと、これまでに 5 例ある。

## ■ “連覇”を達成したのはブルーコンコルドのみ

2 回連続で優勝を果たしたのは、現在のところ第 5 回（平成 17 年）と第 6 回（平成 18 年）のブルーコンコルドのみである。なお、この他にもスーニが第 9 回（平成 21 年）、第 11 回（平成 23 年）と複数回の優勝を果たしている。

## ■ 騎手別の歴代最多勝記録は「3」

騎手別の勝利数を見ると、3 勝の川田将雅騎手が単独トップ。2 勝の御神本訓史騎手、幸英明騎手が 2 位タイとなっている。

## ■ 調教師別の歴代最多勝記録は「2」

調教師別の勝利数を見ると、2勝の安達昭夫調教師、庄野靖志調教師、服部利之調教師、吉田直弘調教師がトップタイとなっている。

## ■ 未勝利の枠番は「2枠」だけ

枠番別の勝利数を見ると、3枠と4枠（各5勝）がトップタイ。6枠（4勝）が単独3位、1枠と8枠（各3勝）が4位タイとなっている。ちなみに、未勝利の枠番は2枠のみである。また、馬番別の勝利数を見ると、6番（6勝）が単独トップ。12番（4勝）が単独2位、1番、4番、5番、8番（各2勝）が3位タイとなっている。なお、未勝利の馬番は7番、9番、10番、13番、14番、16番だ。

<伊吹雅也>